平成2年度　市長施政方針

辺地域は、これまでにも申し上げてまいりましたとおり、高速道機能を最大限に生かした広域的な物流ネットワークの核として整備を進めたい意向であり、現在運輸省のモデル指定をうけて進められている〝ふるさとターミナル構想〟も、本年度中には基礎調査作業が完了する見通しにあります。従って、これらの整備指針をもとに、県都新潟市の物流拠点のサブ施設として整備をめざすことになりますが、そのためにも新潟海・空港と結ぶアクセス道路の建設が不可欠な要素と認識するものであります。関係当局のご理解、ご指導のもと関係市町村との密接な調整を図り、さらには関係地域の意向なども調査するなかでバイパス機能が生かせる土地利用資料等の作成を準備するなど、踏み込んだ計画を検討してまいりたい考えであります。

このほか、高規格・高速交通時代を迎え、新津Ⅰ・Cを中心に本市を取り巻く各国道へもリンクできる将来の布石も考慮していかなければなりません。西への国道一一六号線、北への国道七号線を射程に入れ、Ⅰ・Cに通じる幹線道として主要地方道の国道昇格への道を拓きたいのであります。〝言うは易し〟の感は否めませんが、関係市町村と一体となってその機運の醸成に努め、精力的な働きかけを進めてまいりたい考えであります。

他方、国道四〇三号線及び東バイパスは、高速道へのアクセス道路として交通体系に欠かせない基幹道路となるもので、関係機関の格段のご配慮を得て順調な推移であります。また、県施工の都市計画道路等においては、主に本町地内の拡幅改良が引き続き計画され、市街地の環境整備が一段と図られる見通しにありますので、その促進に向け努力してまいります。

磐越自動車道（新津I・C付近）のイメージ模型

次に、生活幹線道路についてであります。まず、市内における都市計画道路は、ご承知のようにその計画決定からかなりの歳月を重ねております。この間、本市の道路交通体系は日常生活圏の拡大などで事情変化が余儀なくされ、その見通しも複雑化が指摘されているところであります。一口にいって、都市計画道路の法線はまちの発展と社会の情勢展開を的確にとらえ、豊かな市民生活にも敏感に対応できるようその計画決定が望まれるものであります。このため、都市計画を一層推進する側面から、本年の節目のときをとらえ、あるべき都市計画道路網を探るべく「総合都市交通施設整備計画調査事業」を実施し、その見直しの基礎資料としてまいりたい考えであります。

市道の関連施策であります。下興野・程島線は、本年度からの新規事業として一級河川覚路津大通川との関わりのなかで、河川の付け替え工事等暫定改良から取り組んでいるものでありますが、引き続き下流から完成断面に向けて本格的な拡幅整備を図っていくこととなります。

朝日三号線であります。国道から金津中学校までの区間の全面供用開始を予定しております。また、高速道土取り搬路から主要県道白根・安田線を結ぶ道路網整備のなかで、第二期計画として高厳寺付近から石油の里までの調査設計を準備し、一層の推進を図ることと致しました。

田家・程島線につきましては、ゴルフ場への残工事の完成と、関連する二期区間の調査設計を計画したほか、大鹿第四九号三津屋線などを中心に他路線の舗装、側溝の新設も含め、本年度同様精力的に事業の取り組みを進めてまいります。

次に、快適な生活機能を提供する条件づくりであります。なかでも懸案となっているのは、新津駅周辺整備事業であります。駅前交通広場の整備や東西自由通路設置によって通勤通学の利便性を高め、市の玄関口にふさわしい都市機能の整備を図るという観点から、関係機関等との協議・調整を踏まえたうえで計画の具体化を図りたいとするものであります。本事業は、休みなく列車通過が繰り返される駅構内との関わりを抜きにしては推進できないだけに、まず、東西自由通路の建設を進めるに必要な条件整備を図っていかなければなりません。このため、「駅西線街路事業」として西側に予定される工事用作業ヤードの確保から本事業を緒につけていくべく計画したところであります。今後は、本格的な特殊街路としての事業認可に向けて準備してまいりたいと考えます。

一方、北上地区に予定されます新駅につきましては、関係団体のお取りはからいを得て新年度にも東西自由通路工事が着手され、明年三月のJRダイヤ改正から開業の見通しであります。これに合わせて都市施設としての東口駅前広場の整備を考えてまいります。

このほか、優良な住宅地創出へのインパクトとして、荻川地区における区画整理事業に伴う道・排水路の改良についても、積極的な対応をもって推進していくことと致しました。

なお、継続市道等の整備のなかで、冬期における幹線道路の交通確保は克雪意欲を促す重要な施策であり、融雪施設の整備展開を考えていかなければなりません。そこで、例年にもまして限度いっぱいの公共三路線を取り込み、子どもたちの通学路でもあって、交通量が頻繁な幹線道路の南町・程島線、金沢第一八号新郷屋線、本町・北上線を計画し、順次他路線への拡大も準備していくことと致した次第であります。

河川改修に関連致しましては、能代川の小口地内並びに小阿賀野川で順調にその進展をみているところであります。とりわけ、小阿賀野川改修事業においては平成三年度に新寿橋の供用開始が予定され、また、下流の亀鶴橋についても近くルート決定の見通しにあり、今後とも河状整備など本格的な改修事業が早期に着手できるよう、引き続き積極的な働きかけに努めてまいります。

同時に、一級河川に見られる高水敷は、市民生活の潤いの場としてその活用に大きな魅力を感じます。改修事業の促進と同様に、関係機関のご理解を得るなかで何とか有効な活用案づくりを進めてまいりたい考えであります。

お買物、ご用命は市内で

本町4 チューリップ店会 お店紹介

五月人形好評発売中

（総合家具・室内装飾）

有限会社 川崎家具販売
新津店／本町4丁目6－25　☎0250-22-0667
新潟展示会場／大形本町177　☎025-270-6131

環境づくり

次に、快適な環境づくりについて申し上げます。まず、公共下水道事業でありますが、市民生活の向上に欠かせない都市施設と認識致しております。そこで、二年目を迎える「第三期事業計画」の精力的な取り組みとともに、汚水取り込みが遅れている面整備の促進強化を重点に据え、事業の進展に努力していくことと致しました。特に、西部開発地域との関連のなかでは雨水幹線施設の整備を進め、また、山谷道珍堀に先行設置した雨水管の接続とともに、水路側の汚水の一部未供用の解消を図りたい計画で、他の継続事業ともども推進してまいります。

一方、「草水都市下水路事業」でありますが、本年度をもって予定通り当初計画の補助対象事業が終了致しました。引き続き水路工、河状整備を市単独で実施してまいりますが、完了後の道路拡幅については、県単事業で継続的に進められる予定であります。

「農業集落排水事業」については、本年度での事業完了を受け、この四月から、本市では西島地区を最初として農村部での下水道が供用開始に至ります。今後は他地区への普及を検討するなかで、趣旨に沿った農村集落の環境改善を考えてまいります。

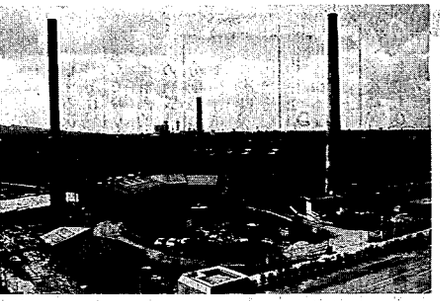
なお、こうした環境衛生の向上とともに水害からの解消が徐々に図られてきてはおりますが、未だ地域によってはときとして湛水被害に見舞われ、計画性ある対応が求められております。なかでも、荻川地区においては抜本的な排水対策が急がれますため、都市環境の整備の面からも基本計画の策定に取り組み、抜本策について準備してまいりたい所存であります。

次に、〝憩いの場〟づくりの関係であります。本市では、秋葉山系を核とした「秋葉公園」、「石油の里公園」の整備を進め、それらは本市のシンボル的施設と評価されるまでに至っております。さらに、新たな憩いの場として「花と遺跡のふるさと公園事業」の本格的着手を計画し、新津の特性・個性をアピールする素材を加えることと致しました。本事業は、南部丘陵地の貴重な遺跡とされる八幡山周辺の保存を前提に「遺跡の森」として自然と生活の場を調和させるべく園路、四阿などを設備し、順次花公園への整備を図っていきたいとするものであります。これによって将来ともユニークな新津の〝三大公園〟として広く〝花とみどりと石油の里〟のイメージアップを図り、新津の魅力を定着させてまいりたい考えであります。また、継続して実施中の「秋葉公園整備事業」につきましても、中央地区駐車場への進入園路の築造とその全線舗装をもって供用開始を計画したほか、少年広場にはトイレ新設を予定し、公園としての環境づくりを前進させてまいります。

一方、「能代川分流記念公園事業」であります。河川改修によりまして現川に残された取水堰と河川景観を活用し、〝史跡・水辺公園〟として県との共同歩調のなかで整備を進めてきたところであります。本年度の用地確保を受け、新だに造成工、植栽工に取り組み、トイレ、水呑場などの新設も計画してまいります。

なお、能代川現川の利用計画に関してでありますが、目下、河川改修との整合を図りながら、検討委員会でその基本案づくりが進められているところであります。ご承知のとおり、本河川は水害の元凶とされてきた一級河川の経緯から、その利用には慎重な対応と何にも増して関係機関との密接な連携・調整が必要であります。しかし、市街地の貴重なオープンスペースとして、その水辺の有効利用が強く望まれているわけでもありますので、早期事業化の実現に向けて一層の努力を重ねていく所存であります。

続いては、緊急な課題とされる〝ごみ焼却場〟の新設計画であります。本事業の建設地選定に当たっては、議員各位から格段のお力添えを頂戴しつつ引き続き懸命な努力を重ねてはおりますが、結果として未だ地元地域での合意展望が拓けず、繰り返し腐心するところであります。本施設は、市民生活に不可欠のものと認識されつつも、地域のご協力なくしてその立地は果たし得ず、行政の責任として惜しみない努力を積み上げていかなければなりません。しかし、事業の緊急性から、結果は結果とする果断な対処もときには必要でありましょう。いずれにしても〝一心万宝〟を性根に据えて、建設地の早期選定に最大限の努力を払うなかで道を拓き、ぜひとも平成三年度の着工に準備してまいりたい考えであります。各位の変わらぬご支援をお願


老朽化が進み、新設計画が緊急の課題になっている〝ごみ焼却場〟

お買物、ご用命は市内で

♥手づくりのデリカ家♥
ゆっくりとおだやかに
カツウラ美肌法
やさしさ・使いやすさ 安全性・経済性
石けん　フローテ　ローション
春の菓子材料入荷　パイシート・タルトピス・ゼラチン
アイスクリーム・スポンジケーキ・ヨーグルト菌・さくらもち
ささだんご・柏もち・くずもち
長崎屋内1F デリカ家 ☎24－7936

●あなたの安心を企画する●
有限会社 樋口保険企画
☎0250・22・6774 FAX0250・24・9110
〒956 新津市金沢町3丁目7番20号